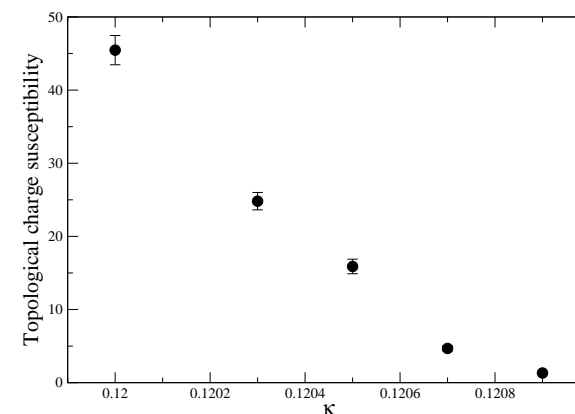
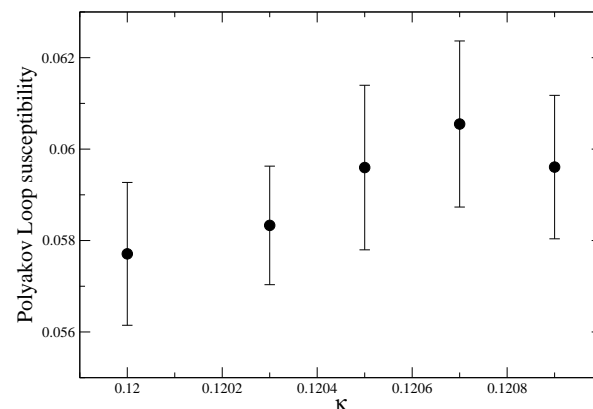
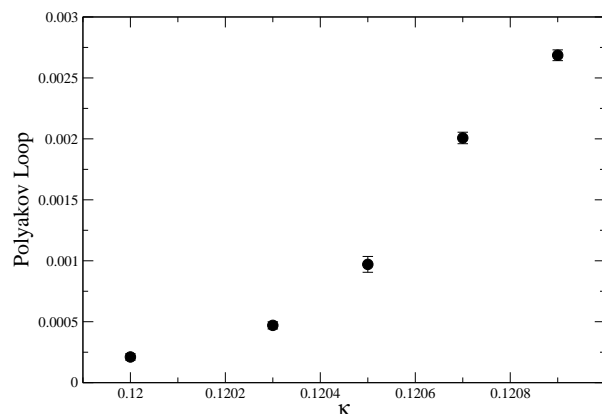


- scknzw グループはこれまで DESY と ITEP のグループらと、DIK 共同研究組織として、2フレーバークォークを動的に扱う有限温度格子 QCD の数値シミュレーション研究を行い、カイラル対称性の自発的破れと回復、カラー閉じ込め・非閉じ込め相転移の研究を行ってきた。本研究ではより現実的なストレンジクォークの寄与も加えた**3フレーバード動的クォークの有限温度格子 QCD 数値シミュレーション**を行った。
- これまでの主な研究成果： $N_t = 12$ における Polyakov ループ (左) と Polyakov ループサセプタビリティ (中) とトポロジカル電荷サセプタビリティ (右)



- 相転移点は $\kappa = 0.1207$ 付近に存在すると推測される。